

2024.02.15. 木曜礼拝「イエスにとって私の人生の細部まで重要」

エゼキエル 4 1 章 & 4 2 章

JD ファラグ 牧師

アーメン、主を褒め称えます。一緒に祈りましょう。主よ、凄いです。言うのは簡単です。この谷の中にいるときに、私たちがそう言い、ええ、喜びに歌いますように。あなたが喜びです。主よ、あなたが平安で、慰めで、力なのです。(会衆：主よ、ありがとうございます。) この礼拝できる時間に心から感謝します。主よ、それはとても心を癒してくれます。今、私たちを集中させ、御言葉で導いてくださいますか？ イエスの御名によって祈ります。アーメン。

アーメン、アーメン。わお！ 今夜は、騒がしい一団だな。どんな夜になるかは分かっています。どうぞご着席ください。ようこそ。来てくださり大変嬉しいです。オンラインで参加の方も歓迎します。ご覧になって祝福されると信じてください。始める前に、さっとお伝えします。日曜日を楽しみにしているのですが、現在進行中のマウイ・ミッション支援について、最新情報をお伝えする予定です。そしてまた 3 月 7 日

(木) の日付を覚えて欲しいのですが、御心なら、そして私たちがまだここにいるなら、スティーブ・サントス牧師と奥さんのキムがここに来てくださる予定です。また木曜日の夜に、8 月にマウイ島で起きたことの直後にしたような続報をするつもりです。それを楽しみにしています。日曜日に、最新情報を伝え、スティーブ牧師が連絡し続けてくださることを皆さんに分かち合いたいと思います。彼が共有くださることを、日曜日に、皆さんに共有したいと思います。そうすることで、皆さんが具体的に祈る方法が分かると思っていますので。では今夜は、「エゼキエル書」2 つの章を学びます。私たちはやりますよ！ そんなに長くはありません。4 0 章は、4 9 節ありました。今夜の 2 章は、4 9 節もありません。先週 40 章から始めた千年王国時代の神殿に関する詳細な記述の続きに注目して欲しいのです。それが書の最後の 48 章まで続きます。しかし今夜は、具体的な詳細の顕著な欠如と顕著な存在両方に気づき始めます。そうすることで、神が預言者エゼキエルを通してなさろうとしているのは、どんなに些細なことであっても、それらは重要だと示されることです。私の人生の細部すべてがイエスを指し示しているだけでなく、私の人生の細部すべては、イエスにとって重要だということです。ですから、私たちは言い、大きな祈りを捧げますね。主は大きな神だから、主にとって難しいものも大きすぎるものは何もないと。でも、こう考えたことはありますか？ “主にとって小さすぎるものも全くない。” つまり、もしかしたら、あなたはこう言って、こう祈り、こうしたことがあるかもしれません。告白すると、私はあります。「神に迷惑をかけるつもりはない。こんな小さなことで。」いいえ、神は仰います。「違います。わたしに言いなさい。」「ええ、でもそんなことは些細なことです。」「分かっています。わたしは、あなたの人生の些細なことに興味があります。わたしは細部にこだわる神です。」そう、私たちはこんな風に言います。「細部への配慮、細部へのこだわり。」私たちの人生には、どんなに些細なことでも、注意を払わなければならないことがあります。この 2 章に入るにあたって、私たちが理解せねばならないことのひとつは、私たちの理解にとって重要だからですけど、この神殿は王国時代、すなわち 1000 年間の、実際の文字通りの神殿です。罪がこの世に入り込み墮落する前の状態の地上で、私たちは栄光の体を持ち、キリストとともに支配統治する千年王国時代です。そこに神殿があるのです。先週も述べたように、私は皆さんの誰もが千年王国時代に、この神殿を見てこうなって欲しくありません。「あれは何？」ダメ！ その全てを知るようになりますから。実際、私は、聖書を書ごと、章ごと、節ごとに学ばず、このことについて何も知らない人々を、皆さんが案内してくれることを大いに期待していますからね。だから注意を払い、メモを取ってください。因みに、これはそれほど遠い話ではありません。あと 7 年ちょっとかもしれません。いえいえ、考えてみてください。ええ、論議のために言いましょ。携挙は誰もが想像しうるよりずっと早いと私は心からそう信じています。(ボン！/JD 上を見上げる) それほどまもなくです。

でしょ？ 皆さん、ここまで大丈夫ですか？ よかった！携挙が、7 年の患難時代の始まりではありませんが、ダニエル書 9 章 27 節の成就とともに始まる 7 年間の患難時代は、携挙に近い時期に起こらねばならないのでは？ 瞬きどころか一瞬のうちに、世界中で何百万人もの人々の消滅によって起きる混乱といたら。瞬きほどの煌めき、そんな速さのうちに消えるのです。そう、考えられるのは、ある人物、そう反キリストが登場し、言う。「私がこれを引き受けます。」「平和と安全」と言い、突然の滅びが下る。私たちは上に上がる。「第一テサロニケ人への手紙 5 章 3 節」、同時に起こる可能性があると思います。それから「ダニエル書

9章27節」、人々はそれを切望して叫ぶでしょう。携挙後に。ですから、さほど長い間隔ではないでしょう。(携挙後から患難時代開始まで) 自分の主張をしたいので、これだけ言わせてくださいね。今夜、私たちがその詳細を知るこの神殿は、もしかしたら7年ちょっと後に、私たちは目にするようになるかもしれないからです。なぜなら、携挙は私たち全員が望んでいるようにまもなくだから、そして間違いなく、そうなると思っていて、それから7年の患難時代があります。だからそういうことです。ということで、2023年の2月、もちろん暦は繰り返して始まり、7日目、7番目の1000年。主にとって千年は一日のようです。

## (II ペテロ 3 : 8)

なぜなら 6000 年が完了し、完成数の「7」、7日目は安息日で、その7日目は 1000 年間の休息期間。その7日目が、千年王国時代です。その7日目の千年王国まで、あと7年ちょっとかもしれません。ですから、私が皆さんにお話するのは、エゼキエルを案内してくれたツアーガイドの御使いを通して、神がエゼキエルに語られたことです。先週の 40 章の冒頭で、主はこう仰いました。皆さん、覚えていますか？

「エゼキエルよ、注意を払いなさい。集中しなさい。心をさまよわせてはいけません。わたしはあなたに、すべての詳細を聞き、書き、記録して欲しい。おもにイスラエルのために、1000 年の間、そこにあるこの文字通りの神殿をあなたに示します。」

ですから先週、始まりました。そして今も続いています。取り組む前に、最後の一つ、この箇所が聖句にあるのは、理由がありますよね？ 聖書はすべて神の息吹を受けたもので、それが指導であれ叱責であれ、理由があって与えられたものだ知っているからです。(II テモテ 3 : 16)

神の御言葉は、すべて理由があって記されています。ですから私たちは、これらの章を一語一語、一行一行、一節一節見ていきます。神の御言葉の中にあるからです。単調で退屈で、うんざりすることの繰り返しかもしれません。私たちはこれらを見ていきます。靈感を受けてエゼキエルが記録したのなら、私たちがそれを学ばねばならない理由があるからです。今夜、それを見ていきます。私たちがこれから目にするのは具体的な細部で、今夜この 2 章からの教訓にして欲しいのは、神は私たちの人生の細部まで、一見取るに足らないような細かいことまで、気を配っておられるということです。それらは神にとって大切なのです。なぜか？ なぜなら、幕屋とそれに続く神殿は、イエス・キリストの型で、描写だからです。また千年王国のこの神殿は、再建される第三神殿と愛称されるものとは異なり、愛称すると言うべきではありませんね。患難時代にそう呼ばれる神殿にも、イエス・キリストの描写があり、すべての調度品、すべての品物、配置、形、設計、寸法、糸の色に至るまで、細部のすべてがイエスの御体の色なのです。「出エジプト記」を一緒に学んだ方達は、幕屋の詳細に入ったとき、モーセは、神が命じられた正にそのとおりに幕屋を建てるように命じられました。糸に至るまで、文字通り糸にまで。糸の色、形、設計、7つあった調度品、ちなみに、先週述べた通り、十字架の形でした。これが幕屋で、次いで神殿です。3でした。外庭、聖所、そして至聖所は3、三位一体の神の描写。父なる神、御子、御霊であられる神と御子キリスト・イエスです。これは、なぜ千年王国に神殿はおろか、いけにえがあったのかという、今夜再び直面する疑問への答えになるでしょう。なぜ神殿があるのか？ ユダヤ人のためです。ユダヤ人のため。そう、じゃあ、OK。でもなぜ？ イエスがそこにおられるのに。なぜイエスを指し示す神殿が必要なのか？ イエスがそこにおられるのに。私たちにイエスが居られるので、幕屋も神殿ももう必要ないのでは？ 神殿はイエスを指し示すためのものです。でも、イエスはもうおられるんだから、神殿は必要ないのでは？ 待ってください。注目してください。神は、神の民であるイスラエルにこうは仰りませんでした。「あなた方には神殿があったのに、あなた方はわたしを知らなかった。神殿はわたしを知るためにあったのです。ですから、あなた方は時間を費やさなければなりません。あなた方は犯罪を犯し、あなた方は時間を過ごす。だから、わたしは、神殿でああなたがたに 1000 年の刑に処すつもりです。その年月を台無しにしたから。あなた方には神殿があったのに、わたしのことを知らなかった。あなた方は台無しにしたのです。あなた方はメチャクチャにしました。だから、わたしは神殿を建てます。」彼らに対する判決なのではありません。神殿は、彼らへの祝福なのです。説明します。彼らは見逃しました。そのすべての世代で。彼らは見逃し、神殿が指し示す救い主を知らなかった。彼らは、至聖所に置かれた契約の箱に象徴される神のご臨在を、シャカイナグローリーを理解していなかった。18インチの厚みのベールで仕切られた最も聖なる場所ですよ。ベールが破れたのは、薄いベールだったからと思わないでください。1.5フィート(46cm)の厚さです。そういうことです。想像してみてください。それが裂かれた時の音。ベールが裂かれ、イエスが復活し、聖なる場所に自由に出入りできるよう

になって、そこにはもう遮るものはなかった。それが頭に浮かびました。先走りすぎましたね。これがイントロです。ええ、聖書の学びをしますよ。今や、私たちはアクセスできるのです。恵みの御座に近づけるのです。ヘブル人への手紙の著者は言います。

「自信を持って大胆に入れる。」（ヘブル 10：19 参照）

傲慢に、ではなく。いつでも入れるのです。なぜそれが重要なのか？ ユダヤ人は、大祭司しか聖なる場所には入れなかったからです。今からすぐ見ていきますが、エゼキエルは、至聖所を、千年王国時代の神殿の最も聖なる場所の寸法を詳しく記します。大祭司たちは、イスラエルの罪を贖うため、一年に一日の贖罪の日/ヨム・キプールでしか入ることができませんでした。もし、これは正気とは思えませんが、考えて欲しいのです。これが、彼らが千年王国時代に神殿を持つことになった理由のひとつで、大祭司は、その生涯において、告白していない罪があつてはなりません。一年に一度の贖罪の日、最も聖なる場所、契約の箱のある神のご臨在、シャカイナグローリーの中に入る人。それはとても深く、力強い瞬間でした。罪がないとは言いませんが、告白していない罪があれば、彼は、そのバリア、ベール、カーテンを通して、至聖所の中に入って、告白していない罪があれば、彼は死にます。彼らが何をしたかご存知ですか？ 祭司の衣服に鈴のついたロープをつけ、彼が中に入るときに括りつけました。そうすれば、もし彼が死んでも、彼を引っ張り出すことができる。彼らが中に入ることはできないから。大祭司だけが入ることができたから。1年のうちたった1日だけ。皆さん、分かりましたか？ 分かりますよね？ ですから、想像してみてください。あなたが大祭司で、「OK. J.D. あなたの番です。」「いや、体調がよくないのです。なぜかよくわからないのですけど。病欠の連絡をします。」

だって何人が死んで、彼らを引っ張りださなければならなかったの？ 鈴の音がしなくなって、何の動きもない。祭司は、死んだのだと思う。引っ張り出さないと。私たちは中に入れたい。入れれば死んでしまう。大祭司だけが入れるのです。ポイントは何だったのか？ これはすべてそのポイントである、イエス、キリストを指し示していました。ですから、神がこう仰っているようです。

「わたしはあなたに見逃してほしくない。神殿が象徴する”わたしを”豊かな祝福を奪われたのだから。ですから千年王国では、それを楽しみなさい。あなた方の世代が決して楽しまなかったことを。これは義務ではなく、特権です。」今から、これらの詳細の一部を見ていきます。一部じゃないですね、多くの詳細を。再び。しかし、細部が神にとって重要であることを私たちは教訓にしたいと思います。あなたの人生で、それがどんなに小さなことでも、どんなに些細に見えることであろうと、神は知っておられ、見ておられ、気にかけておられます。どんなに小さくても構いません。神はそれを気にかけておられます。それは神にとって重要なのです。最も繊細な部分です。それでは、準備はいいですか？ 祈りで締めくくる時間かな？ いや、まだ違いますね。41章1節、先週と同じツアーガイド、青銅の御使いが語ります。

—エゼキエル 41：1—

彼は私を本殿へ連れて行った。その壁柱を測ると、その幅は両側とも六キュビトであった。これが壁柱の幅であった。

—エゼキエル 41：2—

入り口の幅は十キュビト、入り口の両脇の壁はそれぞれ五キュビトであり、...

おそらく、こう言及する良い機会でしょう。神は詳細の神であり、詳細が重要なだけでなく、神はバランスの神であります。こちら側の恵みの数「5」が、あちら側の恵みの数「5」です。そこにはバランスがあります。

...本殿の長さを測ると四十キュビト、幅は二十キュビトであった。特に3節にも注目してください。

—エゼキエル 41：3—

彼が奥に入り、...

エゼキエルは私たちは奥に入ったと言っていますか？ いいえ、彼（御使い）が入りました。

..彼が奥に入り、入り口の壁柱を測ると二キュビト、入り口は六キュビト、入り口の両脇の壁は七キュビトであった。

—エゼキエル 41 : 4—

彼はまた、本殿の奥に長さ二十キュビト、幅二十キュビトを測って、私に（ここでは。）「これは最も聖なる所だ」と言った。

そこで止めます。待つて。ここは最も聖なる場所でしょう？ はい、そうです。しかし、エゼキエルは祭司の血筋ですか？ はい。しかし、祭司の血筋だからといって、大祭司であるとは限りません。レビ族なのはあり得ますけど、祭司や大祭司ではありません。ですから、この詳細に留意ください。そこでエゼキエルは内に入って測定し、今、このすべてを記録します。これを記憶にしっかり刻みつけねばなりません。ツアーガイドの御使いが、こう呼んでも構わないならですけど、その御使いはエゼキエルにこう言いました。

「これは最も聖なる所だ」待つて。「聖なる場所」と「最も聖なる所」の間にある厚さ 18 インチのカーテンと障壁はどこですか？ 必要ありません。必要ありません。イエスはここにおられますが、明らかに不在です。燭台はどうですか？ それは聖なる所の片側にありました。最も聖なる所ではなく、中央です。燭台と供えのパンを置くところが全て詳細にわかります。イエス・キリストの描写です。パンはいつも新鮮な種なしパンです。イエスの御体です。灯はいつも灯っていて、決して消えることはありません。それらはそこにありません。それらが無いのは明らかです。なぜか？ 必要ありません。ベールも、隔たりも、供えのパンの机も、燭台もありません。必要ありません。理由は？ イエスを表す燭台と供えのパンの机、イエスが復活されたときに引き裂かれたベールはそこにはありません。必要ありません。ここでエゼキエルは、おそらく、最も聖なるところには入りません。この御使いだけが中に入り測ります。そして 5 節、

—エゼキエル 41 : 5—

彼が神殿の壁の厚さを測ると六キュビト、神殿の周囲を囲む脇間の幅は四キュビトであった。

—エゼキエル 41 : 6—

脇間は三階建てで、各階に三十あった。...

90間？ それは多いです。

..それらは神殿の壁に差し込まれていた。脇間がぐるりと取り囲んでいたのも、それが支えとなっていた。しかし（興味深い詳細です。）神殿の壁には、支えが差し込まれていなかった。

なぜでしょう。その理由は、あと 7 年ちょっとでわかります。それでいいですか？ ここには多くの詳細がありますけど、なぜそのような詳細な情報が提供されるのかその理由は語られません。が、千年王国の時には、詳細の理由を尋ねることはない私は断言します。私たちはこうです。「おお、なるほど。」「エゼキエル書」にこのことが含まれたことに感謝します。私は完全に不意打ちの状態だったでしょうから。でも、今は少なくとも見当がつき、今、詳細が必要な理由がわかります。今、この脇間を見ると、神殿の壁は、固定されていません。壁に釘で打たれていません。こんな例を使ってごめんなさい。実際には支えられていますけど、固定はされていません。なぜ神は、この神殿にそれを施す必要があると考えられたのか？ いずれわかるでしょう。わかります。今は、その理由はわからないし、理解できませんけど。

—エゼキエル 41 : 7—

脇間の幅は、螺旋階段で上に上るごとに広がっていた。というのは、神殿はその建物の四方を、上の方まで脇間で取り囲まれていたからである。...

先週も話しました。あなたは常に昇り、上げられます

..そのため、神殿には、地階から中間の階を通って最上階に上る場合、上の方により広い空間があることになる。

皆さんの中には、思考がこのようにできている方もいるでしょう。私のような者は、皆さんの思いつきを、

聖なる意味で大変羨ましく思います。今、私が調べているとき、あなたはすでに頭にそれを描いているからです。私はイエスの御名によって、あなたが大嫌い。私にはできないからです。待つ。中央に上がって地階は下がって、広がり、昇って、増大。OK。そこに行けばわかると思います。それを想像できる人もいますね。そういう賜物があるんです。彼らの脳はそのように配線され、頭のコンピューターでそれを実際に描画し想像できるんです。私はこれを見ながら、何?! OK、OK。そこに行けばわかると思います。栄光のからだになり、栄光の思いを得ます。それだけでも。待ちきれません。思いが墮落していることはわかりますね? それが私の話です。それで考えています。つまり、それが多くを説明しますね? つまり、世俗的な世でさえ、私たちはせいぜい脳の5%しか使っていないと言います。この統計を聞いたことがありますか? ホッとしませんか? はい、あなたの5%の、、、いえ、5パ、私は、私は、その1人であったらと、、、私は時々、自分が1%でさえ(使っていない)と感じるからです。しかし、考えてみてください。脳の95%は使われていないままということ? ほお~! それは大きい。それが多くを説明していますね?

95%、、全力を挙げて、5%です。もう95%あります。私たちの栄光の思いがどのような想像できますか? 私たちの栄光の思いは、残りの95%で無限なんではないでしょうか? このすべてを知ることができるようになります。私たちは栄光の思いと体を手に入れるからです。とにかく、なぜそれを言い出したのかわかりませんが、これで気が楽になりました。あなたもそうであることを願います。

一エゼキエル 41:8一

私は神殿の周りが高くなっているのを見た。脇間の土台は、長めの六キュビトの測り竿いっぱいであった。

一エゼキエル 41:9一

脇間の外側の壁の厚さは五キュビトであった。神殿の脇間と

一エゼキエル 41:10一

部屋との間には空き地があり、それが神殿の周囲を幅二十キュビトで囲んでいた。

これからが本番です。すぐに。この特別な詳細な「事」の背後の「理由」を見ていきます。通常、狂気の背後にある方法と呼ばれます。神が狂っておられるわけではありませんが、これには理由があります。

一エゼキエル 41:11一

脇間の入り口は空き地の方を向いていて、一つの入り口は北向き、もう一つの入り口は南向きであった。その空き地は幅五キュビトで周囲を囲んでいた。

一エゼキエル 41:12一

西側の聖域にある建物は、その奥行が七十キュビト、その建物の周りの壁は、厚さ五キュビト、

5キュビトは1キュビトで18インチ、一手幅でさらに4インチなので、22インチの5倍ということになります。誰か計算してください。覚えていますか? 使っているのは私の脳の1%以下だから。5倍にしたら、大体わかりますね。ポイントは、これは分厚いということ。

...その間口は九十キュビトであった。

一エゼキエル 41:13一

彼が神殿を測ると、長さは百キュビトであった。また、その聖域と建物とその壁とで、長さ百キュビトであった。

一エゼキエル 41:14一

また、東側の聖域と神殿に面する幅も百キュビトであった。

これは小さくありません。大きいです。旧約聖書の神殿と似ていますが、まったく異なり、規模もはるかに

大きいです。

#### ーエゼキエル 41：15ー

彼が神殿の裏にある聖域に面した建物の長さ、その両側のバルコニーを測ると、...

気付くのは、両側のバルコニーの詳細で、テラス？回廊？美しく壮大な響きじゃないですか？

...その両側のバルコニーを測ると、百キュビトであった。

本殿と、その前の庭の玄関の間、ここハワイのような小さな庭の玄関ではないと思います。玄関があれば、それは踊り場のようなものです。何だろう、3フィートかける、、、このような玄関は、柱は荘厳な柱を思い浮かべます。つまり、これらは、、、 荘厳です。

#### ーエゼキエル 41：16ー

敷居と...

ここに先週見た詳細があります。斜めにカットされた窓枠の格子窓、ご存知、この建造物を見ていく時、細部にまで多くのこだわりがあります。今、特に建設関係者は気づくのは、この建造物の計画に投入された詳細です。興味深いのは、これは皮肉なことですけど、細部に気を配ると、それに気づきません。ですから、私たちがこだわった細部は邪魔をしません。なので、あなたはこの教会に来ると、計画中に非常にこだわった何かを通りすぎります。私たちは特定のことを特定の方法ですることを選び、特定の細部に注意を払いました。ですから、この場所に足を踏み入れた時、私たちが細部にまで注意を払わなかったら、あなたはそれに気付きます。「おお、、、」あなたはそれをしませんね？ つまり、私達が細部にまで気を配ったゆえに、あなたが教会に足を踏み入れた時、礼拝の中心から注意をそらすものは何もありません。それらは、手をかけられ、細心の注意が払われ、長い時間が費やされました。線り形の大きさ、厚み、耐久性といった細部に至るまで。話が脱線しすぎて、私たちの集中力を逸らさないことを願います。覚えていますか？ 私たちはこれに集中し、思いを正すはずだからです。あまり遠くに行きたくないんですけど、これが役に立つかもしれませんが。あなたが来たとき、どの入り口から入って来られたかは知りませんが、あの正面玄関はそこにありませんでした。切ってあの入り口を造りました。壁でした。建物の前全体を2～3フィート外に出しました。ポーチではありませんが、正面に屋根のある座れる場所です。私たちはそのデザインを全面的に見直し、細部にまで細心の注意を払いました。それは形と機能の両方でした。ですから、あの正面玄関を通る時、私たちの経験を知ってさえいたら、、、私がここで話したかったのは、そこかもしれません。で、あなたがそこへ足を踏み入れた時、それに気づかなかった。最も重要なことは主を礼拝することだったからです。その配慮が細部にまで行き届いていなかったとしたら？ それは、あなたが主を礼拝するのを邪魔していたかもしれません。入ってきて、エアコンの音量と騒音まで聞こえ、、、私たちはまだエアコンの騒音に取り組んでいます。祈り会に参加された皆さんのために、私はそれを止めようと思いました。私は学びもっと知るべきです。何も触ってはいけません。それをさらに悪化させます。大きな金切り音がしました。自分が何ををしたのかわかりません。私はすぐに逃げました。その窮地を救ったのはマイクでした。みんな祈っていて、霊的です。私は、私はただ、、、私は自分の聖化を疑っています。自分から逃げました。何をやっちゃったんだ？ 大変うるさくて、、、とにかく、私たちはそれに取り組んでいて、少しずつ前進していると思います。マイクはエアコンのことで貢献してくれています。でも、私たちにはエアコンがあります。覚えていますか？ 私たちが借りていた古い建物。何ヶ月かは暑かったです。木曜日の夜の聖書の学びに来ると、一日中バーベキューをしていたみたいでした。扉が閉まると、炉のように熱くなりました。聖書の学びを始める頃には。私には扇風機がありました。私はごまかして、説教壇の下に扇風機をつけていました。この特別な場所からは沢山熱い空気が出ていました。が、大変暑かったんです。私はただ、かわいそうな皆さんを見ていたことを思い出します。皆さんは天に宝を積んでいます。死にそうです。すごく暑くて。ルーバー窓を開けますが、貿易風はなく、皆さんはただ座って茹だり、私は、今晚のように説教を続ける、、、とにかく、私たちはエアコンがあります。エアコンについて神を讃えましょう。主よ、エアコンをありがとうございます。ある方々、構いません。誰も見ません。「本当に寒いですけど。」あともうひとつで、すでに進行中の聖書の学びに話を戻します。ご存知、挙手をお願いしたことがないです。何人寒くて何人暑いのか。その必要はありません。理由をご存知ですか？ 何が起こるかももうわかるからです。「少し寒かったら手を挙げてく

れますか？」皆さんの半分は手が上がります。私がこう言ったら、「手を挙げていただけますか？ 少し暖か過ぎたら。」残りの半分の手が上がります。ですから、私はしません。寒ければ上着を着てください。OK。私は全然寒くありません。私が寒いなら、本当に寒いんです。とにかく、やめたほうがいいですね。それはまた別の機会の別の説教だからです。すでに進行中の聖書の学びに戻ります。で、格子窓と、その詳細で、その美しさです。で、16節はまだ終わっていませんね。(敷居と格子窓と、)

...三階になったバルコニーには、床から窓まで羽目板（70年代の木製枠を考えないでください。）が張り巡らされ、窓はおおわれ、

—エゼキエル 41：17—

それは入り口の上部、神殿の内側と外側に及んでいた。そして、これらを囲むどの壁の内側にも外側にも綿密に考案された図柄があり、

—エゼキエル 41：18—

ケルビムとなつめ椰子の木が彫刻してあった。...

先週はヤシの木の話をしました。ヤシの木の話は割愛しますが、ヤシの木は繁栄を語り、繁栄の象徴でした。ケルビムは安全、安心、繁栄の象徴でした。その詳細は、神は祝福と繁栄の神であられること。聖なる人生は祝福された人生、豊かな人生、守られた人生です。

...なつめ椰子の木はケルビムとケルビムの間にあり、それぞれのケルビムには二つの顔があった。

—エゼキエル 41：19—

人間の顔（☒注目）は一方のなつめ椰子の木に向かい、...若い獅子の顔はもう一方のなつめ椰子の木に向かい、このように神殿全体の周りに彫刻してあった。

獅子の顔と人の顔があります。それは何についてですか？ 人、王、支配統治。いわば、ジャングルのライオンキング。人の顔と獅子/ライオンの顔があります。これが語るのは、支配統治する人で、神殿の全ての周りに神の人です。

—エゼキエル 41：20—

床から入り口の上まで、ケルビムとなつめ椰子の木が彫刻してあった。本殿の壁も同様であった。

このヤシの木の彫刻を見るのが待ちきれません。質の悪い仕事ではありません。彼らは手抜きはしません。これは質の高い仕事です。ご存知です。誰が建設するのか、どれくらいの速さで建設されるのか知らされていません。誰が建設するかはもう決まっていると思います。その建設がどれほどの速さで進むかは、すでに分かっています。神は請負業者を持つ必要はありません。このような細部に至るまで、奇跡的に即座に建設され、置かれると私は思います。

—エゼキエル 41：21—

本殿の戸口の柱は四角で、至聖所の前には何か

—エゼキエル 41：22—

木の祭壇に見えるものがあり、高さは三キュビト、長さは二キュビトで、その四隅も台も側面も木でできていた。彼は私に「これが主の前にある机だ」と言った。

「主の前にある」それは何を象徴しているのか？ 主の前にある祈りの祭壇だと思います。再度、千年王国での神殿に顕著に見られないのは、香の祭壇だからです。それは神殿に存在し、幕屋の前にありました。(出エジプト30：1-11、40：5参照) そのようなものは何ともありません。この千年王国には、異なりませんが似たような記述と詳細を持つ神殿がありますが、この机は私たちの祈りの象徴として主の前にあり、主の御前で、主に向かって上げられます。「黙示録」が言うように、主の御前の香です。(黙示録 8：4参

照)

一エゼキエル 41:23ー

また、本殿と至聖所にそれぞれ二つの扉があり、

一エゼキエル 41:24ー

それらの扉にはそれぞれ二つの戸が折りたたむようになっていた。すなわち、一つの扉には二枚の戸があり、もう一方の扉にも二枚の戸があった。

実用的ですね。神は実用的な神です。神はバランスの神、神は詳細の神であります。

一エゼキエル 41:25ー

本殿の扉には、壁に彫刻されていたのと同じような、ケルビムとなつめ椰子の木が彫刻してあった。外側の玄関の間の前には木のひさしがあった。

一エゼキエル 41:26ー

玄関の間の両脇の壁には、格子窓となつめ椰子の木があり、神殿の脇間とひさしも同様であった。

これから42章に入ります。これは続きです。原本には、章の区切りや節、章がなかったことを理解してください。ありがたいことに、それらは後から追加されました。想像してみてください。「エゼキエル書」を教えるのに、章立てや節立てではなく、先週の続きから、採寸の部分に行くことになるなら。これらは素晴らしい参照材料ですが、連続しています。詳細の続きです。

一エゼキエル 42:1ー

彼は私を北の方の外庭に連れ出し、聖域に面し、北方の建物に面している部屋へ連れて行った。

一エゼキエル 42:2ー

その長さは百キュビト、その端に北の入り口があり、幅は五十キュビトであった。

繰り返しますが、巨大です。壮大です。

一エゼキエル 42:3ー

二十キュビトの内庭に面し、また外庭の石畳に面して、...

(どうかアスファルトだと思わないでください。

千年王国には、残念ですが、外庭のアスファルト建設業者はいません。)

...三階になったバルコニーが向かい合っていた。

一エゼキエル 42:4ー

部屋の前には内側への通路があり、その幅は十キュビトで、長さは百キュビトであった。その部屋の入り口は北に向いていた。

覚えておいてください。すぐに意味が分かりますので。

一エゼキエル 42:5ー

最上階にある部屋は、バルコニーが場所を取ったので、建物の地階の部屋よりも、また中間の階の部屋よりも狭かった。

待つて。言い換えれば、私たちは、この部屋のあらゆるスペースを利用するのですよ。無駄なスペースは一切ありません。ですから、実際に、設計して、これがどれくらい短くて、それがどれくらい高くなるのか、



細部に注意を払います。同じ高さだったら、収納スペースが少なくなってしまうから。建物を建てるにあたって、ひとつだけ重要なことがあります。これは皆さんもご存知だと思いますが、私が証明します。家であれ、教会であれ、何であれ、特にハワイでは収納がいくらあっても足りません。待つて。この神殿には倉庫が必要なのですか？ そうです。その理由はすぐにわかります。そう、巨大なビジネスや産業が設立されます。ここは気をつけて言いますが、トランクルーム倉庫事業を軽蔑する意味ではありません。あることがあって、気をつけないといけません、もし彼らを知っていたり、そこを借りていたり、所有しているのなら、私たちはあなたを愛しています。神の祝福を。でも、その角は、カネオへのカフヒバだと思います。何の意味か分かりますね？ 私は自動車ディーラーでしたから、よくわかっています。実際、ここに引っ越してきた当初は空きビルでした。そこは教会を建てるのに最適な場所だと思いました。2004年のことで、随分前、もう20年も前です。実際にオーナーに会って提案をしていたら、彼らは、結局そこを倉庫会社へ売ったのです。ウインドワードモールとのちょうど境界線ですよ。どういう意味か分かるでしょ？ この怪物は、通りから5フィートのところにあるのです。まさに、寸法の話といえば、です。明らかに神には、エゼキエルと一緒に寸法を測った御使いがおられなかった。御使いなら全く別の方法で測り、別の方法で設計しただろうから。そもそも彼らは、それを建てなかったでしょう。彼らは神を礼拝するために教会/神殿 建てたでしょう。物の保管ではなくて。聞いてください。そのユニットを借りるのにいくらかかるか知りません。サイズも様々です。でも、質問していいですか？ そこに保管している物ですが、テレビのリアリティ番組で「ストレージ戦争」みたいなものがあるのは知っています。あれもそうなの？エピソードのひとつを見て、思いました。嘘でしょ？ 入札ですって？ いやいや、そんなことの時間はありません。皆さん大変お優しいです。でも、保管、、あれは何ですか？ どんな感じかということ、5万ドルの車があるとしましょう。ガレージではなく、車道に置く。理由は、あなたのガレージに何がありますか？ 5ドル相当のガラクタ。車庫がガラクタでいっぱいだから、ローンを支払っている5万ドルの車を車道にとめる。彼らには言い方があって、これも別の実際の番組で、『Hoarders』（ため込み症）という番組だと思いますが、私は知りたくありません。言ってみただけです。－（笑）－ あなたはものをため込んでいる。ちょっと言いますが、ネタバレ注意。理解してください。携挙が起こったら、そんな物持って行けませんよ。（会衆：口笛、拍手、笑い）車だって、持って行けませんよ。天で、新しいのが貰えるかも。分かりませんが。アスファルトがあり、、それはないです。石畳という意味です。きっと車はあります。分かりませんが。それは私の憶測に過ぎませんが、収納があります。これは実用的な収納です。言い換えれば神は私たちの人生の細部にまで気を配っておられます。無駄はありません。だから、群衆を養う奇跡について考えます。どのように食べ残しがあつたのか、その詳細が記されています。そう、少年のお弁当があつて、男性、女性、子供たち、推定2万人に食事を与え、少年の弁当から神がそれを倍増させられる。全員満腹になって、食べ残しがあつた。皆、袋や発泡スチロールの容器に入れて持ち帰った。イエスは弟子たちにそれらを集めさせられた。無駄なものは何もないからです。（マタイ 15：36～37参照）

無駄なスペースはないからです。神は私たちの人生の細部にまで気を配られ、無駄にならないようにあらゆる機会を最大限に活かされます。食べ残しがあつたら、私が弟子の一人だとすると、「神よ、何の意味があるのですか？ あなたはまた奇跡を起こせるでしょうに。その気になれば、チックファイレやイン・アンド・アウト・バーガーを毎日食べることもできます。あなたが奇跡をなされば、いいのですから。だからなぜ食べ残しを集めるのですか？」「いいえ。無駄なものは何もありません。捨てるものなど何もありません。千年王国でこの神殿を設計しこのスペースをすべて活用するつもりです。」非常に実用的に設計されています。これが最後です。もう締めくくりますので。ここに引っ越してきたとき、たくさんのものを手放しました。つまり、本土の大きな家からカイルアの箱の中に引っ越しました。文字通り、900平方フィートの壁一枚作りの箱です。ベッドルームが3つに、バスルームが1つ。ある日そこに座って、隣の家ともう一軒隣の家を見ていました。3軒の家の広さを合わせても、本土の16万5000ドルでも売れなかった家よりまだ小さかった。－（泣）－ 地中プール付き、3階建て。私はここに座ってこれを眺めていて、「私は何をしてしまったのか？」あなたの御声を聞いたと思ったのですが。もしかしたら聞き間違えたかもしれません。オアフじゃなかったのかも。オハイオかアイダホだったのかも。スペルを間違えたのかも。分かりませんが。私たちはアメリカで最も物価の安いところから、最も物価の高いところに引っ越したのです。追加料金なしにゴキブリは出るし、私はこの箱の中に座ってこれを眺めています。私はここに聖書の学びに結びついているポイントがあるのはわかっています。そうじゃないなら、結びつけますからね。とにかく、スペース。その話です。そのスペース。スペースです。これは広々としています。あ、そうそう、引っ越す前に、持ち込む

家財を

コンテナに詰めました。その多くは、私が本土に建てた教会のものでした。実は「教会（笑）」を一緒に持ってきて、それから身の回りのものも持ってきて、一番狭い部屋のひとつに詰め込みました。天井までありました。私はあのコンテナに詰め込みました。一寸の隙間もない。非常に聖書的でした。それが言いたかったのです。ここに引っ越してきた話は、5節をした時でしたから、先に進みましょう。6節、

一エゼキエル 42：6一

なぜなら、これらは三階建てであり、庭の柱のような柱がないからである。

それで、最上階の部屋は地階の部屋よりも、また中間の階の部屋よりも狭かった。再度、スペースを最大限に活用しています。また、神は多様性と創造性の神であります。

一エゼキエル 42：7一

また、これらの部屋の前の外庭の方に、部屋に沿って外側に石壁があった。その長さは五十キュビトであった。

一エゼキエル 42：8一

というのは、外庭に面する部屋の長さは五十キュビトだからである。そこで、本殿に面する側は百キュビトとなる。

一エゼキエル 42：9一

これらの部屋の下には、外庭から入れるように、東側に出入り口があった。

この流れ。継ぎ目のない流れ、設計、細部へのこだわり。私たちはキッチンをこのように設計しました。その話に行くべきじゃないですね。あのカウンターは美しかった。流れや細部に至るまでデザインしました。ともかく。

一エゼキエル 42：10一

聖域や建物に面している、南側の庭の厚い石壁の中には、部屋があった。

階段の下はデッドスペースでしょ。そこは奥深いから、何かに使いましょう。物置に使おうよ.....物を入れられるし。階段の下に小さなケースがあるのです。それに貴重品じゃないものを詰め込んであるのです。そのために倉庫を借りたりはしないから。こんな風に斜めになっていて、私はそのスペースを使っています。貴重なスペースですよ。ハワイで1平方フィートいくらなのか知ってます？利用しなくちゃ。面積に関係ありません。収納スペースだろうが、リビングルームのスペースだろうが、1平方フィートあたりの金額は同じ。私はそれを使いますよ。何かがそこに入りますよ。必要なら私が入ります。OK。11節、10節を終えましたっけ？ 分かりました。ありがとう。

一エゼキエル 42：11一

その部屋の前には通路があった。部屋は北側の部屋と同じように見え、長さも同じ、幅も同じで、そのすべての出口も、その構造において入り口と同様であった。

その詳細が分かりますか？ 入口、出口、玄関。神はそれを見ておられ、神のご計画によって、それらが神にとって、重要なのです。私はこの建物にも同じことが言えたらいいのに。ええ、私たちには計画がありました。でも、そうしなかったことがいくつかありました。この件でトラブルになるかもしれませんが、それはすべて法律に従ったもので、法律を守る市民ですから、何も悪いことはしていませんよ。ただ.....計画から遠ざかったんです。ええ、プロジェクトの最中というのは、そういうものなのです。あなたは考えます。これを描いた時、私は何を考えていたんだろう？ 間抜けだな。少なくとも一度は、この言葉（間抜け）を使ったかったんです。そして、途中で変更する。でもこの神殿ではそうではなく、すべては計画通りに正確に進行しました。

## 一エゼキエル 42：12一

南側の部屋の入り口も同様で、通路の先端に入り口があり、東側の石壁に面し、そこから入れる通路があった。

それから、13節と14節、大変興味深いので皆さんよく聞いて欲しいのです。お付き合いください。

## 一エゼキエル 42：13一

彼は私に言った。「聖域に面している北の部屋と南の部屋は、聖なる部屋であって、主に近づく祭司たちが最も聖なるささげ物を食する所である。...

待ってください。祭司たちがいて、献げ物から食事をしようとしている。彼らは献げ物に与ります。彼らは生活し、献げ物から食べることができます。そうです。

「脱穀をしている牛に口籠をはめてはならない」、また「働く者が報酬を受けるのは当然である」(1テモテ5：18)

手前味噌に聞こえるかもしれませんが、主に仕える牧師たちは献げ物に与ります。さて、ここで収納スペースが登場します。

...彼らはそこに最も聖なるもの、すなわち、穀物のささげ物、罪のきよめのささげ物、代償のささげ物を置く。その場所は聖だからである。

これほど大規模なものはありません。また、これだけのことをするので、すべてのささげ物を置く場所が必要です。だから、ここに収納スペースをつくりました。ですから、これらのささげ物を手に入れ、ささげ物ですべてを終えたら、設計した収納場所に入れることができる。その細部にまで気を配ったことを嬉しく思いませんか？ 14節、さらに興味深いです。

## 一エゼキエル 42：14一

祭司たちは、聖所に入ったら、聖所からそのまま外庭に出てはならない。彼らが奉仕に用いる服は聖であるから、そこに置き、ほかの服に着替えてから民に属するところに近づくのである。」

思うに、神の慈悲で、このことを延々と話すための十分な時間は私に許しておられません。ですから、これだけ言っておきます。時に、これは祭司でしょ。彼らは主に仕え、奉仕するときにスリッパとTシャツを着てはいけません。スリッパとTシャツには、人々と交流する時に履き替えることができます。しかし、神殿で奉仕するときは、それらの衣を着ることになっていました。これだけは言っておきます。ハワイではこれは文化的なことですが、でも、木曜日になれば気づきます。まず、私はいつもアロハシャツを着ています。スティーブ・サントスが、私にTシャツを着せたい時以外は、皆さんは私がTシャツを着ているところを見ることはありません。あの時だけだったと思います。だから、写真撮られましたか？ あの時だけです。今回、彼がきてくれて、別のTシャツを持ってくると？ まだ分かりませんが、いずれ分かるでしょう。しかし、それは主に対する畏敬と尊敬からです。日曜日の朝は、特別な日でない限り、スーツを着る人はいません。テレサの告別式に、私はスーツを着用しました。でも私は、素敵なシャツとスラックスを履きます。私は主に仕えています。素敵なアロハシャツを着ます。紳士靴を履きます。ちなみに、その靴はアマゾンで69ドル99セント。派手ではありません。快適ではありません。腰が痛くなります。とにかく、分かりませんが、追加料金なしの話。でも、主に仕えているときは素敵に見られたいです。だからといって、皆さんがそうしろという意味ではありません。頼むから、そうして来ないでください。皆さんの何人かは、、「わお~どうもありがとう。もうスリッパにTシャツ、短パンで教会には行けないよ。」いいえ、皆さんは大丈夫。私はできません。私は牧師だから。私は聖職者だから。もし私が外出するのを見かけたら、あまり出かけないので、ないでしょうが、でも私が着ているもの、皆さん、私に気づきませんよ。実は、気づかれないから、今や、変装しています。「あなたはJD牧師ですか？」それに対して、私の返答は、「場合によります。」なぜ知りたいの？ 良いことなら？ 「はい。」良くないことなら、「違います。あれは私の邪悪な双子の兄弟。」でも、ですから帽子をかぶって、Tシャツに短パンです。恐ろしいし、醜いのは分かっている

ますけど、スリッパ（サンダル）です。それが私の外出時です。あなたは私に気づかないでしょう。あ、どうか、

そうする牧師を非難するつもりはありません。もし彼らが説教壇の後ろで、短パンにTシャツでスリッパを履く自由があるなら、主を褒め称えます。私にはその自由はありません。いいですか？ 私はこの説教壇の後ろに立つときに着る衣服があります。主はこのことの時間を与えておられませんから、もうやめておきます。では、15節、もう終わりますから。

一エゼキエル 42：15一

彼は神殿の内側を測り終えると、（私の聖書の学びも終わって欲しいでしょ？）東向きの門に私を連れ出し、神殿の周囲を測った。

一エゼキエル 42：16一

彼が測り竿で東側を測ると、測り竿で五百竿であった。（巨大です！）

一エゼキエル 42：17一

北側を測ると、測り竿で五百竿であった。

一エゼキエル 42：18一

南側を測ると、測り竿で五百竿であった。

一エゼキエル 42：19一

彼が西側に回って測り竿で測ると、五百竿であった。

一エゼキエル 42：20一

彼が外壁の周りを巡って四方を測ると、その長さは五百竿、幅も五百竿で、聖なるものと俗なるものとを分けていた。

穢れるわけではありません。そうではなく、聖別されていたのです。ここは聖地だったから。締めくくるので、最後に、この五百竿の細部に注目してください。これと同等との見方もあり、そう広く信じられています。アメリカンフットボール場の約17面分と考えてみてください（ほ～！！）それほど大きいのです。それほどデカイのです。こんにちのエルサレムの地形で、このような規模のものを建設することはできないでしょう。しかし千年王国で、エルサレムと神殿の地形は、すべて再配置されます。だから先週、このことを話したのですが、あなたがハワイ諸島を支配統治したいなら、まず第一に、私はすでに予約してあります。可能なのですが、実は、千年王国で、地上という世界がどのような姿になるのかわかりません。罪がこの世に入り込む前の、完全なエデンの園のようになるでしょう。それだけでも、本当に美しくなるでしょう。水域よりも陸の方が多くなるのではないですか？今は、陸地よりも水域の方が多いでしょ？だからスペースは十分にあります。先週述べたように、きっと、狭い通路はありません。部屋はたくさんあるし、スペースも広がります。それは私たちがそうだったらと望んでいるように。つまり、特に5000平方フィートの敷地面積のある人たち、面積5000平方フィート？！そして何人かは私を見て仰る。「あなたには5000平方フィートもあるの？」わお～！！それはどんなものでしょう？いいえ、千年王国の神殿は、500です。アメリカンフットボール場17面。スペースは十分です。わお～主よ、ありがとうございます。これを見るのが待ちきれません。そして、これについて詳しく教えて下さり感謝します。カポノ、上がってきてください。皆さん、ご起立ください。ご忍耐感謝します。私たち、やり遂げましたよ。マズくなかったでしょ。素晴らしくありませんが、悪くはありません。主よ、私たちのためにここに記されているこの詳細に感謝します。主よ、それはとても遠いことのように思えて、断絶があることは分かります。もちろん、この神殿がどのようなもので、どのような姿になるのか、私たちがまったく理解できないこともあります。しかし、あなたはそれを聖典に載せるほど重要なことだとお考えになられました。そして、2500年以上の時を経て、私たちは今、この世代にいて、私たちは、おそらく7年以上後神殿がどのような姿にな

るのか、この詳細な説明をもらっています。主よ、それは高尚すぎて、私たちには理解できません。主よ、あなたがこれらの詳細をすべて記してくださることを感謝します。私たちの人生の詳細が、それがどんなに小さなものであっても、あなたにとっていかに重要であるかを私たちに思い出させるために必要だからです。主よ、ありがとうございます。主よ、あなたの愛、配慮、慈しみに、この詳細へのこだわりを感謝します。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

---

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii 筆記 hukuinn7